

中川君(伊作6年)全国へ

南日本小学生プログラミング大会



「みんなの mirai」をテーマに自作を披露する出場者 116日、鹿児島市のみなみホール(税所陸郎撮影)

南日本小学生プログラミング大会(南日本新聞社主催、鹿児島信用金庫、南日本情報処理センター協賛)の最終選考会が16日、鹿児島市のみなみホールであった。最優秀賞に日置市の中

川健君(伊作6年)が選ばれ、全国大会出場を決めた。「みんなの mirai」をテーマに10人がアプリを披露。中川君は、島津の武将4人が登場するゲームを通じて日置市の四つの町の魅力

を紹介した。「まさか最優秀賞とは。全国に日置の魅力を伝えられるよう頑張る」と喜んだ。

特別賞の鹿児島信用金庫賞は、薩摩川内市のがらつば堂ロボ・テクラボの車田丈侍君(平佐西6年)、南日本情報処理センター賞は鹿児島市のIT Kids Labの道添英玲奈さん(鹿大付属6年)、審査員特別賞は霧島市の向花4年、平野晃成君に決まった。団体賞はIT Kids Lab。

大会は4回目で県内35校から85作品の応募があった。全国大会は来年3月3日、東京で開催される。

(児玉菜々子)